



国土交通省道路局長様

高森建第8号  
平成19年4月26日

高森町長 熊谷元尋



平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のあった「中期的な計画の作成にあたっての意見の提出」について下記の通り回答いたします

道路は、活力ある経済社会活動と、豊かな暮らしを支える最も基礎的な社会資本であり、その整備は地域住民が等しく熱望しているところであります。

少子高齢化が急速に進む中、活力ある地域づくりの推進や良好な生活環境の創造、又安全で安心できる国土を実現するためには、道路整備を長期的な視点に立って、着実に推進していくことが重要と考えます。

とりわけ中山間地域を抱える当地域は、未だ道路整備が立ち遅れており、地域振興の基盤となる道路整備が、重要かつ緊急な課題と考えます。

また、昨年7月の梅雨前線豪雨により、当地域も生命線である幹線道路にも甚大な被害が発生しました。被災箇所的確かつ迅速な復旧はもとより、厳しい地形や気象条件を克服する災害に強い道路や災害時に代替機能が発揮できる道路ネットワークの構築が益々重要となっています。

道路に対する住民ニーズは依然として高く、歩道等の交通安全対策、橋梁等に対する老朽化対策等々、安心できる国土を実現するために、引き続き道路整備の推進が図られるよう要望するものであります。